

協議事項(1)

令和 6 年 6 月 1 4 日
坂井市公共交通対策課

坂井市地域公共交通計画の目標値の内容見直しについて

1. 協議内容
- 坂井市地域公共交通計画（令和 3 年 3 月策定）の目標値の内容の一部見直し
2. 理由
- 市では、「坂井市地域公共交通計画（令和 3 年 3 月策定）」に基づく施策のひとつとして、コミュニティバス路線の再編を行い、坂井市オンデマンド型交通の運行を開始したが、計画においては目標値に対する実績の内訳にオンデマンド型交通等の取扱いについて記載されていないため、次のとおり内容を見直し、オンデマンド型交通の実績値を含め計測することを明示する。
3. 適用日
- 令和 5 年度の実績値より

参考：コミュニティバス（コミバス）路線の再編事業に係る市内公共交通の変化

R5.1.12 まで	R5.1.13～R5.9.30		R5.10.1 から
	オンデマンド型交通	➡	オンデマンド型交通
コミバス接続ルート	コミバス接続ルート	➡	コミバス木部ルート
コミバス基幹ルート	コミバス基幹ルート	➡	京福バス・三国丸岡線 京福バス・春江丸岡線

3. 見直し内容

①「指標1：公共交通利用者数の増加」

現状値（R1）からの推移が測れるよう、コミュニティバスから転化した「オンデマンド型交通」、「京福バス三国丸岡線」及び「京福バス春江丸岡線」の利用者数を加えて計測することを記載。また、ハピラインふくい開業後は「JR」を「ハピラインふくい」に読み替える。目標値は変更なし。

(新)

指標1：公共交通利用者数の増加			
評価指標	現状値(R1)	目標値(R6)	内容
公共交通利用者数 (1日あたり)	3,703.8 人	4,000 人	利用しやすい公共交通網を整備し、利用者の増加を図ります。 <u>コミュニティバスの再編後は代替路線（※）の1日あたりの利用者数を加えて計測します。</u> <鉄道> 5%増加 <コミュニティバス> 30%増加

【現状値の内訳（1日あたり利用者数）】

JR 春江駅・丸岡駅 2,137.0 人
えちぜん鉄道三国芦原線 1,208.2 人
コミュニティバス 基幹ルート 276.8 人 接続ルート 81.8 人

※代替路線とは次の3つの路線を指します

- ・坂井市オンデマンド型交通
- ・京福バス「三国丸岡線」
- ・京福バス「春江丸岡線」

なお、ハピラインふくい開業後は、「JR」を「ハピラインふくい」に読み替えます

(旧)

指標1：公共交通利用者数の増加			
評価指標	現状値(R1)	目標値(R6)	内容
公共交通利用者数 (1日あたり)	3,703.8 人	4,000 人	利用しやすい公共交通網を整備し、利用者の増加を図ります。 <鉄道> 5%増加 <コミュニティバス> 30%増加

【現状値の内訳（1日あたり利用者数）】

JR 春江駅・丸岡駅 2,137.0 人
えちぜん鉄道三国芦原線 1,208.2 人
コミュニティバス 基幹ルート 276.8 人 接続ルート 81.8 人

②「指標２：公共交通の運行に関する収支率の向上」

オンデマンド型交通の運行経費を加算して計測することを記載する。

当初よりデマンド化による効率性の向上を図り、収支率を改善することを見込んでいるため、目標値は変更しない。

(新)

指標２：公共交通の運行に関する収支率の向上			
評価指標	現状値(R1)	目標値(R6)	内容
コミュニティバス収支率	8.2%	15%	<u>コミュニティバスを再編し、接続ルートはオンデマンド型交通に変え、運行効率や利便性の向上を図ります。再編後はオンデマンド型交通に係る経費を加えて計測します。</u>

(旧)

指標２：公共交通の運行に関する収支率の向上			
評価指標	現状値(R1)	目標値(R6)	内容
コミュニティバス収支率	8.2%	15%	接続ルートのデマンド化により、運行効率や利便性の向上を図ることで、収支率を改善します。 <基幹ルート> 12.1%（据置） <接続ルート> 3.9% → 18.5%